

国際未来社会に対応する新しい人材育成プログラム 2022

明海大学

建学の精神に則った人材育成のためダイバーシティに配慮した教員採用や育成を積極的に推進するアップデートプログラムを以下のように定める。

1. 常勤教員について下記の目標を設定する。

- a. 女性研究者：40%
- b. 若手研究者：40%

2. 以下の項目を施策する。

- a. ワーク・ライフバランスの向上。
 - i. 産休、育休などの取得と復帰を支援する他、個別の相談にも応じる。
- b. ダイバーシティに配慮した対応を向上。
 - i. 教員の採用(公募)に当たって、ホームページ等で外国語による周知を行う。
 - ii. 専門分野の人材を幅広く採用できる仕組みとして、インターネットによる日英2カ国語による教員公募要領の公表を行う。

3. 若手教員の充実と支援を行う。

- a. 国際的な学術論文作成能力の向上を支援。
- b. 選択的研究資金援助を積極的に実施。
 - i. 学内研究資金支援事業の改善・周知
 - ii. 公的研究費取得と研究マネジメントに関するプロモーション。
 - 1) 学内講習会を開催するとともに、外部の学術イベントへの参加を容易に行えるようにして、外部研究資金の獲得が研究者のキャリア形成に反映できるように支援。
- c. 生活環境の変化(結婚や出産など)に伴う就業困難に対して、就業継続を支援。
- d. 任期付助教の任期満了後の雇用継続の仕組みの検討。
- e. 大学院から教員へのシームレスな移行を推進する。
 - i. 優秀な大学院生の教員採用を充実する。
 - 1) 本学の大学院を優秀な成績で修了した者は、教員定員に関わらず、教員採用が可能な施策を講じる。
 - 2) TAとして教員と学生から高い評価を得た大学院生を表彰する仕組みを講じる。
 - ii. 優秀な大学院生確保のため、給付型または貸与型奨学金制度および授業料減免制度などの措置を図る。
 - 1) 経済的または生活環境の変化により通常の大学院生としての在学が困難な学生に対して、経済的支援を行うとともに、在学期間の延長(大学院の産休、育休など)等の措置を講じる。